

協 会 通 信 ～No. 4～

(2018. 12. 28)

発行：一般社団法人 岩手県中小企業診断士協会

目次：会長からのメッセージ	P 1
合同発表会の写真集 工藤伸一	2
日報論壇（会長寄稿）	3
	（以上）

会長からのメッセージ

会員の皆さんお元気ですか。「協会通信」No. 4をお届けします。今回は、前号でお知らせした陸前高田・大船渡の視察研修（10月20～21日）以後の主な動き（会長が参加したもの）について報告します。来年もよろしく願いいたします。どうぞ良いお年を！

① 北海道・東北ブロック会議（10月26日。札幌ガーデンパレス）

毎年恒例のブロック会議が札幌市で開催され、参加して参りました。この会議の主催は診断協会連合会本部（以下「本部」）で、幹事持ち回りです。

会議では「本部報告」と各協会の「報告事項」をもとに、意見交換等が行われました。今年度は主として更新要件であるポイント取得問題が話し合われましたが、中小企業庁でも要件緩和についての具体的な取り組みには至っていないようです。

② グループ補助金審査会（11月1日。県主催）

今年度第2回目の審査会が開催され、委員として参加しました。

③ 診断協会シンポジウム（11月7日。湯島ガーデンパレス）

本部主催の恒例のシンポジウムに、診断士個人の立場で参加しました。受賞者の発表の中で、前沢牛の肥育業者を支援した事例の発表（東京の診断士）などもあり、興味を持って聴いてきました。懇親会にも参加して交流を深めてきました。

④ 日本経営診断学会東北部会との合同研究発表会（11月10日、県立大キャンパス）

本部が制定している「診断士の日」のイベントとして毎年開催しているものです。当協会会員による発表はありませんでしたが、発表会、交流会に会員8人が参加しました。発表会の模様は、後掲の写真（工藤新一理事撮影・編集）をご覧ください。

⑤ 岩手県士業懇談会（11月22日、ニューウイング）

毎年恒例の懇談会（講演と各士業団体の近況報告等。今年度の幹事は行政書士会）に参加し、他の士業の会長等と懇談しました。

⑥ いわて実践診断士の会の勉強会・忘年会（12月22日。やまなか家大通店）

7人が参加し、各自が「今年1年を振り返って」近況などを発表しました。（宮）

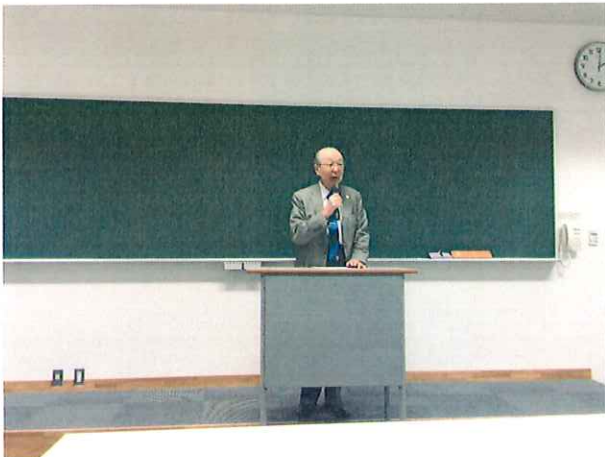
平成 30 年度日本経営診断学会東北部会研究発表会 写真



開会前の模様



岩手県立大学 植竹 俊文准教授の進行により開会



宮会長あいさつ(1)



宮会長あいさつ(1)



基調講演 株式会社情報システム研究所 金澤 闢朗 社長

来年のカレンダーをいくつか手にしました。1枚ものもあれば、6枚もの(2カ月に1枚)や12枚もの(各月1枚)などさまざまです。図柄や構成も、文字だけのものから、写真・絵画入りなどそれぞれ特色があります。

ところで、今年手にしたカレンダーに共通する特徴が一つあります。それは日本古来の「元号年」(来年は平成31年)の表記がないことです。

これまでも、西暦年だけのものや、西暦年と元号年



の両方が入ったものなどまちまちでしたが、来年の途中から新しい元号に変わることがはっきりしている

明治維新以後は、明治・大正・昭和の3代にわたつ

西暦と元号の関係数字

宮

健

西暦年で書くか元号年で書くか、または両者を併記(どちらかをカッコ書き)するが迷います。結局、どちらが読んでくださる方々に理

年ですから、元号年から12にインプットしておくよう

来年は、年の途中から新元号1年となりますから、西暦年(2019)から18を引けば新元号になります。つまり「18」が新しい

て、天皇がお亡くなりになるまで同じ「元号」(一代一元号)が使われてきました。今回は、陛下のご意思

総理大臣になったのは、1918(大正7)年のこと

かじめ元号の変わる口が明確になっています。

私はいつも、明治・大正・昭和・平成の各年と西暦年との関係数字を、頭の中

話は変わりますが、私は

えば平成30年は2018

年との関係数字を、頭の中

(盛岡市 中小企業診断士 85歳)